MORIWAKI BACK STEP KIT

ホンダ　０６−０７　ＣＢＲ１０００ＲＲ

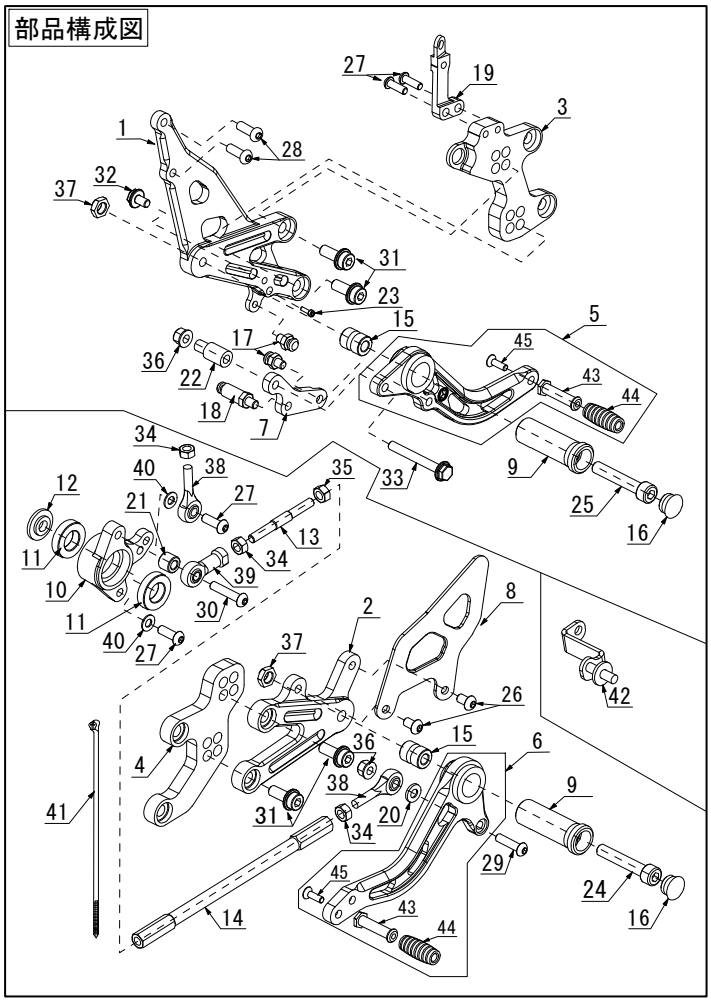
取扱説明書

⚠作業される前に必ずお読み下さい

【パーツ一覧】

No	部品番号	商品名	入数	単価(税抜)
1	500118DR	ｽﾃｯﾌﾟﾌﾟﾚｰﾄ RH	1	¥9,900
2	500118DL	ｽﾃｯﾌﾟﾌﾟﾚｰﾄ LH	1	¥9,900
3	501018DR	ｽﾃｯﾌﾟﾎﾙﾀﾞｰ RH	1	¥6,900
4	501018DL	ｽﾃｯﾌﾟﾎﾙﾀﾞｰ LH	1	¥5,100
5	5006003B	ﾌﾞﾚｰｷﾍﾟﾀﾞﾙ	1	¥9,800
6	5006004C	ﾁｪﾝｼﾞﾍﾟﾀﾞﾙ	1	¥9,800
7	500618C0	ﾌﾞﾚｰｷﾍﾟﾀﾞﾙｽﾃｰ	1	¥2,300
8	5003002L	ｶﾞｰﾄﾞL､ｽﾃｯﾌﾟ	1	¥4,200
9	50050001	ｽﾃｯﾌﾟﾊﾞｰ	2	¥3,300
10	50061620	ﾁｪﾝｼﾞﾘﾝｸ	1	¥7,400
11	BBRC0001	ﾍﾞｱﾘﾝｸﾞ6902ZZ	2	¥950
12	50171620	ﾜｯｼｬｰ、ﾁｪﾝｼﾞﾘﾝｸ	1	¥740
13	0024M060	ｽﾀｯﾄﾞﾎﾞﾙﾄ M6×L60	1	¥1,500
14	00240200	ﾁｪﾝｼﾞﾛｯﾄﾞM6×200	1	¥1,900
15	00131620	ﾍﾞｱﾘﾝｸﾞｶﾗｰ	2	¥740
16	05150001	ｷｬｯﾌﾟ, ｽﾃｯﾌﾟﾊﾞｰ	2	¥400
17	50091871	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞﾌｯｸﾋﾟﾝ	2	¥600
18	50090005	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞﾌｯｸﾋﾟﾝ	1	¥1,500
19	500418D1	ｽﾃｰ､ﾋｰﾄｶﾞｰﾄﾞ	1	¥4,200
20	A1206030	ｶﾗｰ Φ6.2×Φ12×L3	1	¥220
21	A1206120	ｶﾗｰ Φ6.2×Φ12×L12	1	¥250
22	501618D1	ｶﾗｰ､ﾋﾟﾛﾎﾞｰﾙ	1	¥740
23	CB03010U	ｷｬｯﾌﾟﾎﾞﾙﾄ3×10	1	¥25
24	CB08045U	ｷｬｯﾌﾟﾎﾞﾙﾄ8×45	1	¥125
25	CB08050U	ｷｬｯﾌﾟﾎﾞﾙﾄ8×50	1	¥125
26	BB06010U	ﾎﾞﾀﾝｷｬｯﾌﾟﾎﾞﾙﾄ6×10	2	¥50
27	BB06018U	ﾎﾞﾀﾝｷｬｯﾌﾟﾎﾞﾙﾄ6×18	4	¥70
28	BB06020U	ﾎﾞﾀﾝｷｬｯﾌﾟﾎﾞﾙﾄ6×20	2	¥70
29	BB06025U	ﾎﾞﾀﾝｷｬｯﾌﾟﾎﾞﾙﾄ6×25	1	¥70
30	BB06030U	ﾎﾞﾀﾝｷｬｯﾌﾟﾎﾞﾙﾄ6×30	1	¥70
31	90140-08020-31	ﾎﾞﾙﾄ、ﾌﾗﾝｼﾞｿｹｯﾄ8×20	4	¥125
32	FB06010U	ﾌﾗﾝｼﾞ六角ﾎﾞﾙﾄ6×10	1	¥70
33	FB06050U	ﾌﾗﾝｼﾞ六角ﾎﾞﾙﾄ6×50	1	¥70
34	NT060000	ﾅｯﾄ6mm	3	¥25
35	NT06000L	ﾅｯﾄ6mmL	1	¥50
36	FU060000	ﾌﾗﾝｼﾞﾛｯｸﾅｯﾄ 6mm	2	¥100
37	U308000U	3種UﾅｯﾄM8	2	¥100
38	00JAMR06	ﾋﾟﾛﾎﾞｰﾙｵｽM6	2	¥2,500
39	00JAFR06	ﾋﾟﾛﾎﾞｰﾙﾒｽM6	1	¥2,300
40	HW06000U	ﾜｯｼｬｰ 6mm	2	¥25
41	TPB36300	ﾀｲﾗｯﾌﾟ 3.6×300	1	¥80
42	64603-201C6-00	ｽﾃｰ,ﾘﾔｱﾝﾀﾞｰｶﾊﾞｰ	1	¥1,580

部品構成図



No	部品番号	商品名	入数	単価(税抜)
43	00060003	ﾍﾟﾀﾞﾙﾉﾌﾞ	2	¥890
44	00980001	ﾗﾊﾞｰ､ﾍﾟﾀﾞﾙﾉﾌﾞ	2	¥450
45	SB06025U	ﾃｰﾊﾟｰｷｬｯﾌﾟﾎﾞﾙﾄ 6×25	2	¥75

【製品名】ホンダ ０６-０７ ＣＢＲ１０００ＲＲ バックステップキット
（Ｐａｒｔｓ．Ｎｏ ０５０６０－２０１Ｃ６－００）

【仕様】

《適応車種》 車種名 ‘０６ ＣＢＲ１０００ＲＲ

《マフラー》 スタンダード、モリワキ製マフラー

《ポジション》
１５mm アップ、１５mm バック
１５mm アップ、２５mm バック
２５mm アップ、１５mm バック
２５mm アップ、２５mm バック

《その他》
正,逆チェンジ仕様
タンデムステップ使用可能
サイドスタンドで取付け可能
国内仕様は、サイドカバーの加工が必要

⚠注意事項

① 作業はエンジンが十分冷めてから行って下さい。エンジンやマフラーに触れて火傷をする可能性があります。
② 作業する時は、けが防止のため、軍手を着用して下さい。
③ エンジンを始動する場合には、必ず換気の良い場所で行って下さい。
④ ステップ取付け時には、プレートの脱落、マスターシリンダーの緩みなどのトラブルが発生しないように各部の締め付けを十分確認して下さい。特にブレーキ周りの取付け不良は、大事故を引き起こす可能性があります。
⑤ 装着後、ステップが各部と干渉していないか必ず確認して下さい。
⑥ 本製品は出荷時に仮締めしてある部品がありますが、取付け時には、必ず本締めして下さい。
⑦ 走行中の振動により、ボルト類が緩むことがありますので、必要に応じて増し締めをして下さい。
特に転倒時には緩みやすくなりますので必ず点検をして下さい。
⑧ 本製品は、基本的にスタンダード車両を対象としています。取付け車両にマフラー、スイングアーム、フレーム等の改造箇所がありますと装着できない場合があります。
⑨ 不正な取付けによるステップ破損等の返品は、お受けしておりませんのでご了承下さい
⑩ 転倒歴のある車両では、フレームのステッププレート取付け部分が曲がり、取付かないケースがありますのでご注意下さい。

【準備物】

〈工具〉 ヘキサゴンレンチ ４mm、５mm、６mm、８mm 各１本
スパナ ８mm １本
スパナ １０mm ２本
スパナ １２mm １本
スパナ １３mm １本
スナップリングプライヤー、トルクレンチ、ラジオペンチ、スプリングプラー

〈工具〉 国内仕様の車体(サイドカバーの加工)に必要
ハンドドリル、ドリルφ１０、ヤスリ、ニッパー等

〈その他〉 軍手、ネジ止め剤、グリス、ウエス

【締め付けトルク】

標準締め付けトルク

ネジ径	Ｎ－ｍ	ｋｇｆ－ｍ	ｌｂｆ－ｆｔ
Ｍ６ボルト、ナット	１０	１．０	７
Ｍ８ボルト、ナット	２２	２．２	１６

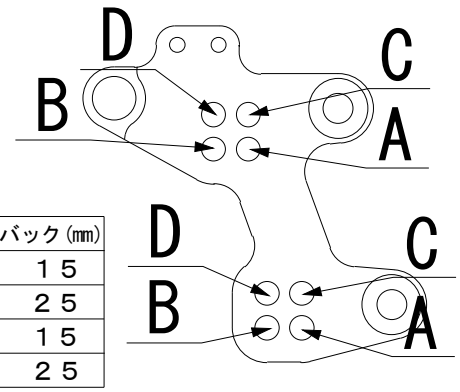
《１．ポジションを決定する》

ポジションを決定します。

ステップホルダーには４つのポジションがあります。各ポジションにおけるスタンダード(以下、ＳＴＤ.とする)との位置関係は右図のようになります。

（右図参照　図１）

図１



取付け穴	アップ(mm)	バック(mm)
A	１５	１５
B	１５	２５
C	２５	１５
D	２５	２５

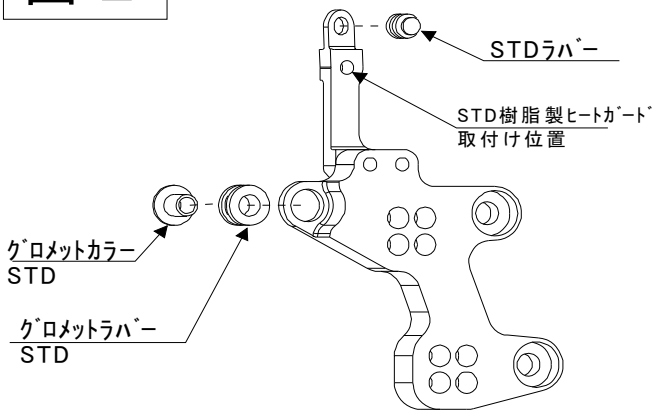
この図は、ﾌﾞﾚｰｷ側です。

《２．モリワキステップの取付け》

右側ステップ

① ホルダープレートにＳＴＤ.ステップからグロメットカラーとグロメットラバーを取り外し、ホルダープレートに取り付けます。（右図参照　図２）

図２



② 流用するＳＴＤ.パーツをバックステップに付け替えます。
(マスターシリンダー、ストップスイッチ
スイッチステー、スイッチスプリング、
リターンスプリング)

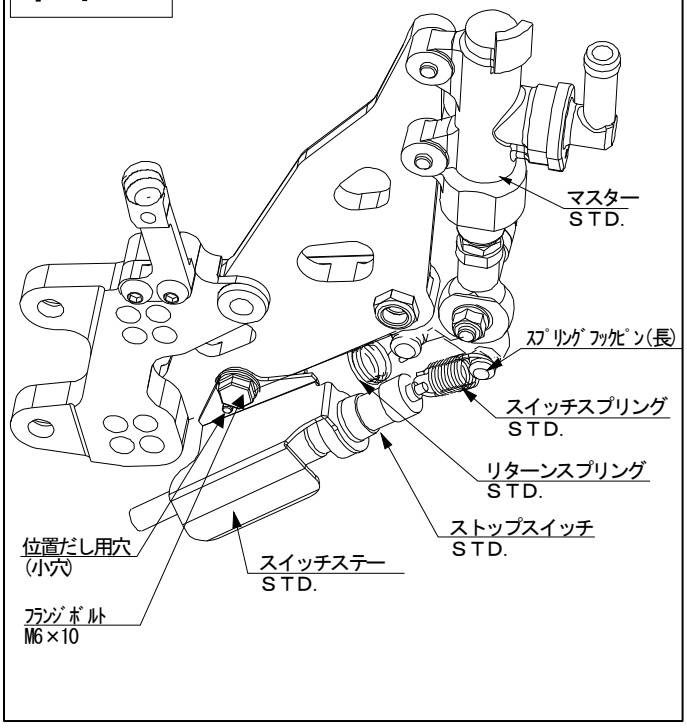
③ リターンスプリングをペダルとステッププレートのスプリングフックピン(短)の溝に引っ掛けます。

④ スイッチステーの位置だし用穴(小穴)をステッププレートから突き出しているM3ボルトに合せて、取り付け、M6×10のフランジボルトで固定してください。

⑤ スイッチスプリングをペダルのスプリングフックピン(長)の溝に引っ掛けます。

右図を参照し、間違いの無い様に組んで下さい。
ストップスイッチのコードの長さが足りない時は、前の方(エンジン側)から、コードを必要な分だけ、たぐり寄せて取り付けて下さい。

図３　ステップ裏側からの図



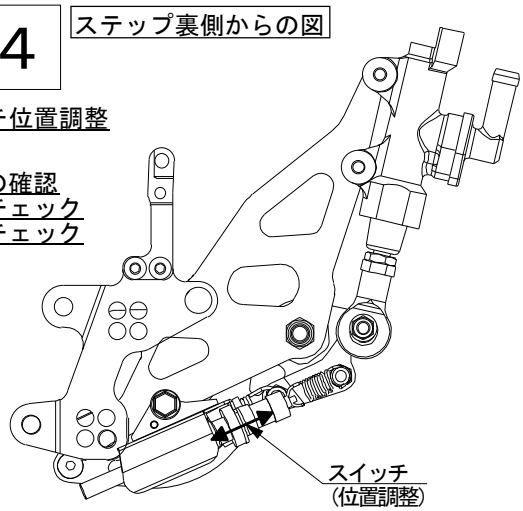
⑥ 車体にステップを取り付ける。

⑦ ストップランプスイッチを調整する。
（ペダルを作動させてストップランプが付くか確かめる。図４参照）

⑧ 各部が干渉していないかチェックする。
ボルト、ナットの締め忘れが無いかチェックする。

特にペダル等は稼動させてチェックして下さい。

図４ ステップ裏側からの図



左側ステップ

①車体にステップを取付ける。

チェンジペダル(ＳＴＤ.)を取り外し、チェンジリンク(モリワキ製)を取り付けます。

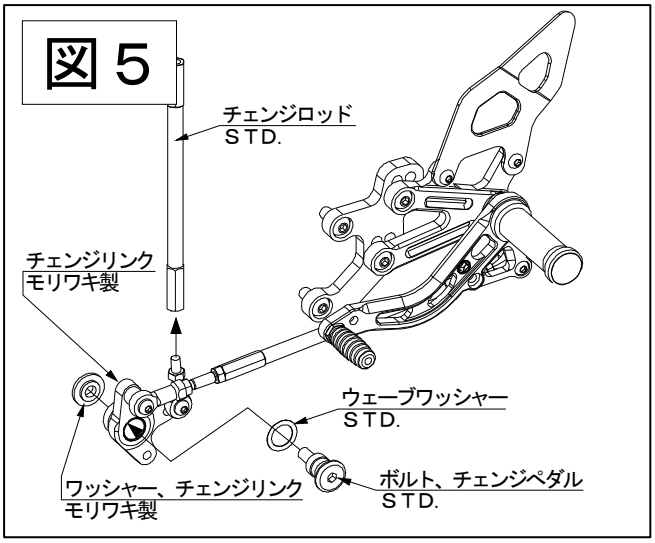
その時､ウェーブワッシャー(ＳＴＤ.)とチェンジペダルボルト(ＳＴＤ.)を使用して下さい。
(図５参照)

又、チェンジペダルボルトは、定期的にグリスアップを行って下さい。

②各部が干渉していないかチェックする。
ボルト、ナットの締め忘れが無いかチェックする。

特にペダル等は稼動させてチェックして下さい。

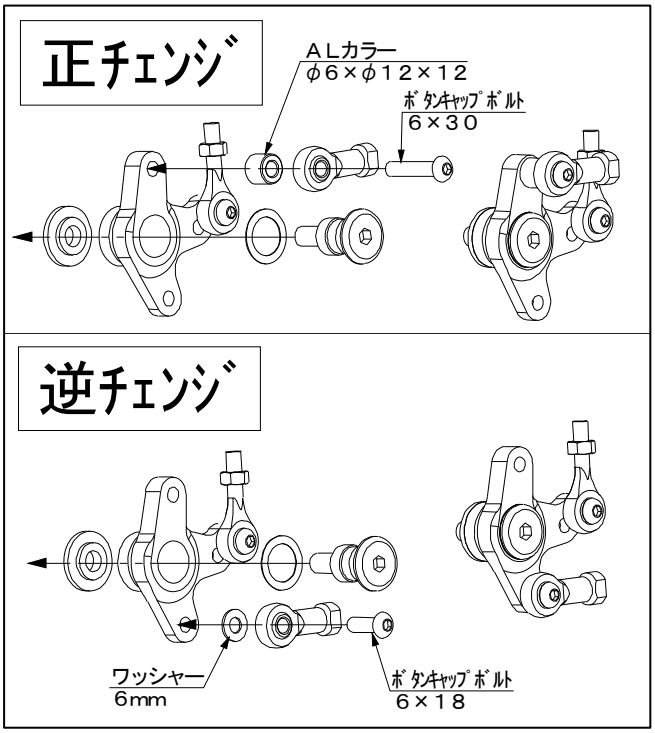
図５



正、逆チェンジの調整

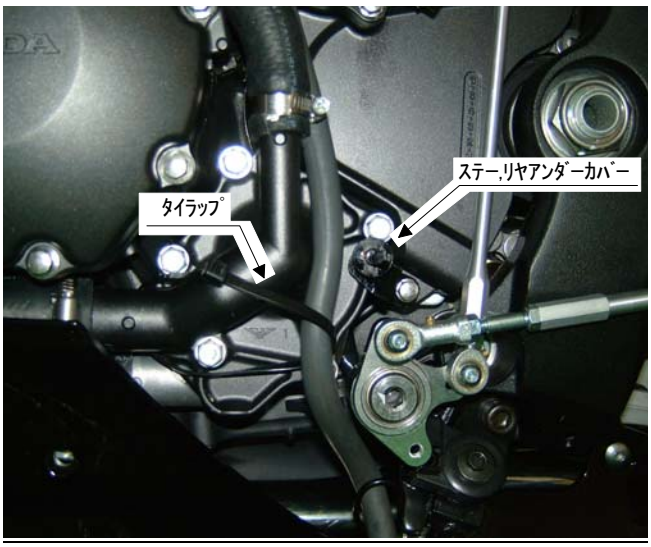
正チェンジと逆チェンジは、取り付け位置及び、構成パーツが異なります。

右図を参照し、間違いの無い様に組んで下さい。



ホースの取りまわしの調整

チェンジペダル取り付けボス横のホースの取りまわしを
付属のタイラップを使って、ペダル作動時に接触しない様に調整して下さい。
(右図参照)



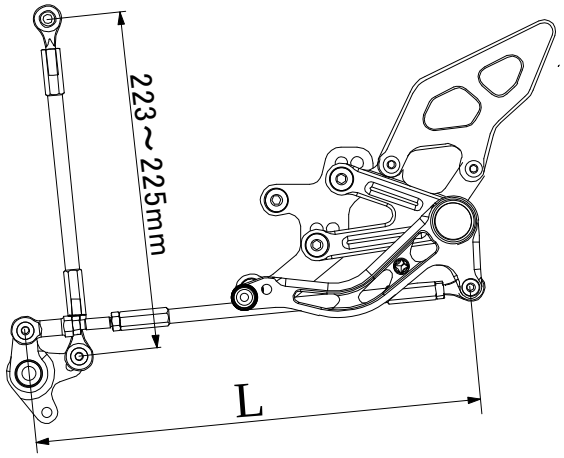
チェンジロッドの調整

チェンジロッドをねじ込み、チェンジペダルの高さを調整します。ピロボールへのねじ込み量が足りない、あるいは多すぎて好みの高さを得られない場合には、チェンジアームの角度を変えて、再度チェンジロッド長さを調整して下さい。（右図参照　図６）

⚠警告　タイロッドボルトとチェンジロッド、両側ピロボールとのねじ込み量をそれぞれ最低６ｍｍ（６回転）以上確保して下さい。６ｍｍ以下になるとネジ山を損傷し、チェンジロッドが外れる恐れがあり大変危険です。

⚠注意　チェンジロッドＡｓｓｙ両端のピロボールを固定する際、ピロボールの動きを妨げない位置に固定して下さい。

図６　この図は,正チェンジです。

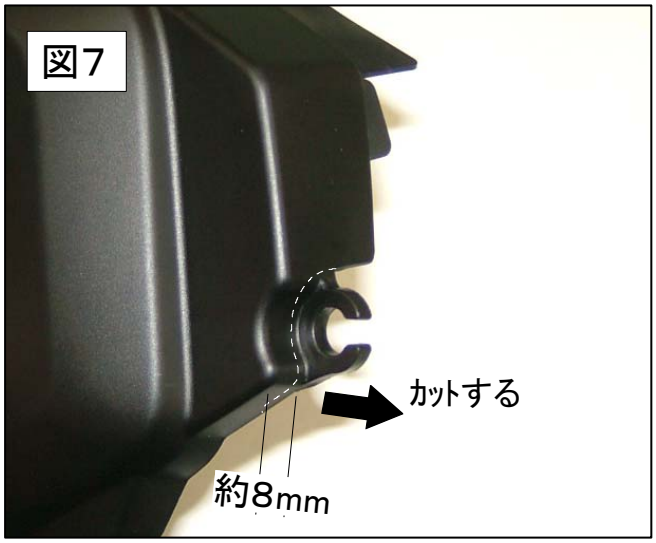


取付け穴	L（長さ）の目安 正ﾁｪﾝ	L（長さ）の目安 逆ﾁｪﾝ
A	２７８mm	２７８mm
B	２８７mm	２８７mm
C	２８１mm	２８１mm
D	２９０mm	２９０mm

カバー(ＬＨ)の加工､取り付け

国内仕様のＣＢＲ１０００ＲＲは、左側カバーの加工が必要です。(右図参照)

破線で示した部分をヤスリやニッパ等を使って取り除いて下さい。
現物合わせを行いながら、稼動部(シフトチェンジ時)に干渉しない様に加工して下さい。(図７)

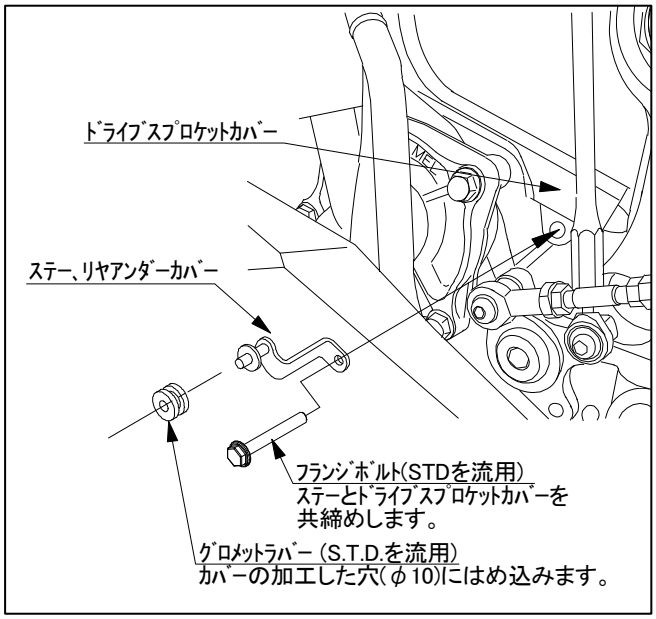


右図の様に型紙を使いカバーに穴センターの目印をつけます。ハンドドリル等を使ってφ10の穴をあけます。(図8)
作業は、ケガ や、事故の無い様に充分注意して、行なってください。
また、作業に不慣れな方は、整備士やプロのメカニックにお任せする事をお勧め致します。

左側カバー用のステーを取り付けます。

ステーとドライブスプロケットカバーの下側の取り付けボルトを共締めして下さい。(右図参照)

カバーにグロメットラバー(ＳＴＤ.流用)をはめ込み、車体に取り付けて下さい。



《３．確認》

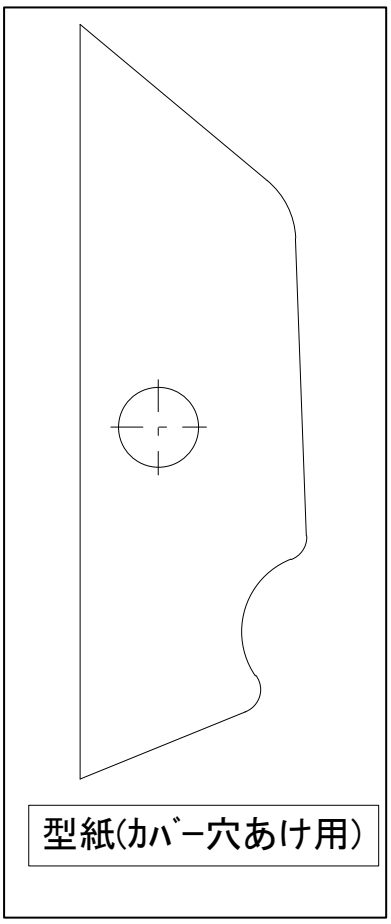
３．１　試走前の確認

① 干渉している箇所はないか。（特に可動部）
② 可動部がスムーズに動くか。
③ 各ボルト、ナット類の締め忘れがないか。
④ リヤブレーキが正常に効くか。
⑤ ストップスイッチが正しく作動するか。
⑥ ストップランプが正しく点灯するか。

３．２　走行後の確認

① 各速へスムーズにシフトできるか。
② 各ボルト、ナット類の緩みがないか。

⚠注意 各部に干渉や締め忘れが無いか充分にご注意下さい



型紙(ｶﾊﾞｰ穴あけ用)

【メンテナンスについて】

ベアリング、ピロボール部の円滑な動きを妨げないように、潤滑には十分気を付けて下さい。
振動によって、ボルト、ナット類が緩むことがありますので、必要に応じて増し締めをして下さい。
特に転倒時には緩みがないか、点検をして下さい。

本説明書は末永く保管し、メンテナンス等の機会には、活用するようにして下さい。
製品上の問題点、取付け時の不明点等がありましたら、お気軽にお電話にてお問い合わせ下さい。

(株) モリワキエンジニアリング
〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉町6656-5
Tel 059-370-0090 Fax 059-370-0152
HP http://www.moriwaki.co.jp